

第 20 回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2025 年 10 月 16 日（木）14：00～

2. 場所

倶知安町総合体育館 2 階 研修室



3. 委嘱状の交付

（町長より、委員へ委嘱状を交付）



4. 町長挨拶

- ・本日はお忙しい中、本委員会にご参加くださり、感謝申し上げます。
- ・本委員会では、令和3年度から令和6年度までの間に、延べ19回の検討会および5回の勉強会を開催し、委員の皆様には東西広場や都市施設の機能、駅舎デザインコンセプト要望書など、多岐にわたる事項についてご検討を重ねていただいた。これまでのご尽力に対し、改めて感謝申し上げます。
また、オブザーバーとしてご参加いただいている鉄道・運輸機構をはじめ、JR北海道の皆様には、これまで度重なるご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
- ・ご承知のとおり、北海道新幹線倶知安駅の開業は大幅な遅れが見込まれており、現時点では開業年の公表もなされていない。こうした状況下においても、開業に向けた各分野での準備を着実に進めていく必要がある。
- ・駅前通りの賑わいづくりにおいて、新幹線駅ができることだけが目的ではなく、町全体が活気を持つことで、住民や訪れる方々が「すごいな」「楽しそうだな」「もっと住みたい」と思えるような地域にしていくことが重要である。そのためにも、改めて皆様にご協力いただきたい。
- ・また、本日はご縁があり、昨年、新幹線駅の開業を迎えた敦賀市から小川まちづくり観光部長をお迎えし、「北陸新幹線敦賀開業とまちづくりについて」講演をいただく。小川様は新幹線駅開業前から、開業後の現在まで、長きにわたり携わっておられる方であり、多くのことを学ばせていただければと思う。
- ・引き続き、一日も早い開業目標を示していただくために、北海道や沿線自治体と連携しながら国に対し要望していく。皆様にも今後ともご協力いただきたい。



5. 委員長及び副委員長の選出

- ・委員長として柏谷委員、副委員長として委員がそれぞれ選出される。



6. 議事

(1) 今後の整備推進委員会での検討内容について

(倶知安町 西口主幹)

- ・前回、3月の整備推進委員会で、新幹線開業が2038年度末以降になる可能性があることを説明させていただいた。
- ・今まで、西口広場と東口広場のレイアウトを検討してきており、東口広場のレイアウトは、ほとんど決まってきたが、西口広場の検討内容については、立体駐車場案と平面案の2パターンを残したまま、検討を進めている状況である。
- ・14年後の土地利用はどんどん変化していく中で、駅前通りを賑わいのある通りにしていきたいと町として考えている。
- ・事務局からの提案ではあるが、今後の整備推進委員会の中で駅前通りの賑わいについて検討していきたい。賑わいづくりといっても様々な形があると思うので、事務局で一旦整理した中で、次回以降の整備推進委員会で検討していきたいと思っている。この方向性で進めてよろしいか確認したい。

(柏谷委員長)

- ・今までの東西広場の議論や、駅周辺の川を含めた賑わいづくり、くとさんパークの使い方など、町の中でも動きが出てきたと思う。そうした中で駅前通りなどの駅周辺の賑わいづくりについてこの委員会で検討していきたいということだが、皆様からご質問やご意見があればお願いしたい。

(波方委員)

- ・まず駅周辺の現状把握をしたほうがいい。土地の所有者だったり、どこの土地が使えるか把握したうえで賑わいづくりの話をしていけたらと思う。

(峠ヶ委員)

- ・現状把握という上では、今の駅周辺を利用している方々から、駅前に何が足りないのか意見を取り入れることも必要だと思う。

(青柳委員)

- ・賑わいづくりというところで、行政という立場でどの程度まで踏み込んで考えていくのか、イベントのような形で賑わいをつくるのか、もしくは駅前で事業をしてもらうために、融資をするという話なのか、方向性を決めないと、議論のしようがない。新幹線の推進委員会という会議体なので、賑わいづくりというふわっとした内容でどこまでできるのかというのが最初の所感。

(津田委員)

- ・逆に考えると 14、5 年前の倶知安駅はどういう状態だったのか、スキー場を含め 14、5 年前に今の状態を見通すことができたのか。動きが激しい地域なので、幅広い視点で物事を考えていかないといかない。
- ・倶知安駅に限らず、近隣の町村と観光客の大きな二つの側面があると思う。そのあたりを融合させていくのか、住民と観光客で駅の使い方が変わってくるため、駅の造りと周辺の施設も変わってくる可能性がある。今なら時間があると思うので、幅広く考えていきたい。

(窪田委員)

- ・駅前通りの賑わいづくりを検討していくという件は賛成である。
その際に駅前通りか周辺かということが先ほどもあったが、駅前通りだけが、賑やかというよりは、周辺を巻き込んだような形で賑わいを考えていけたらいいと思う。また、事業者さんだけが頑張るのではなくて、それプラス住民の方が日常的にも集まるような賑わいが 1 番のベースかなと思う。そこに合わせて事業者さんと観光客の方々などの色々な層への賑わいを検討できたらと思う。

(阿部臨時委員)

- ・北海道新幹線の 5 駅を担当しているが、倶知安駅は駅舎の目の前に駅前通りがまっすぐ通っており、これは他の駅にはない土地条件だと思う。そのため、駅や駅前通りの賑わいを促進できるような検討は重要だと考える。

(小泉委員)

- ・倶知安の町を維持発展していくということを冷静に長期的に考えていく会議体にしていく必要があると思う。
- ・開業が十数年後ということだが、現在の市街地の魅力を高めるような事業者の動きが常にあるので、そういうような取組を支援していく。既存の駅も 14、5 年間使っていくことになるため、観光案内機能や観光客への対応などを応用させながら、新幹線に向けて精度を高めしていくような仕掛けづくりが、このまちづくり新幹線課と委員会にかけられた使命と再認識している。

(岩佐委員)

- ・町は賑わいを検討していくということを軸にやっていくのか。
- ・広場の検討については、前回までの検討内容で進めていくのか、そこからまたやり直しになるのか。

(西口主幹)

- ・都市施設については基本設計が完了しているため、ここで検討を止めておく。

(岩佐委員)

- ・延びたことをどう捉えるか、いいように捉えると考える時間あると思うので、改めて時間を使ってどれだけいいものにできるか。十数年後がどうなるかということを想像することは難しいことである。だからこそ今から広く意見を募って、今現在では突拍子のない意見でも、将来的には実現できる時代が来るかもしれないので、そういった意味では固定概念に縛られないように考えていけたらと思う。

(二川原委員)

- ・利用者にとってどのような駅が一番利用しやすいか、大半がニセコ山系を目的として来訪する人が倶知安駅を利用する。どんな駅名だったら、利用しやすく、倶知安らしいか、たとえばローマ字で NISEKO と書いてその隣に倶知安駅みたいになると倶知安らしさもありつつ利用者にとってもわかりやすい。
- ・観光目線で考えても住民目線で考えても、駅前通りが地元住民で賑わっていないのは良くない。新幹線が来る来ないを別に、地元住民が集い楽しんでいる賑わいできていなければ、観光地としても魅力がないし、新幹線が開業したとしても非常にさみしい。
- ・今ある町の根本的な問題・課題を解決するための、ブーストになるような会議体になればいいと思う。いかに住みよい町か、移住したいなと思えるか、移住したいなと思える町であれば、短期滞在で来訪した人が、最終的には町民になる。

(柏谷委員)

- ・皆様からご意見をいただき、賑わいについてはご理解はいただけたと感じている。
しかし、賑わいとは具体的に何なのか、短期的なものなのか、それともまちづくりを含む規模のものなのか、エリアはどこまで考えるべきなのか、対象となる人々は誰なのか、さらにそのために何が足りないのか、考えるべきことはたくさんある。
賑わいということをキーワードにして、今後それをどのように表現していくかが重要である。
単発的なのか、長期的に考えていくものなのか。幅広くとらえたうえでの賑わいづくりに取り組んでいくということで進めさせていただければと思う。
- ・次回以降、賑わいについて検討するにあたり、こういう資料がほしいということがあれば、皆様から意見をいただきたい。
- ・私としてはまちなか広場の資料と外部の人向けの町についての資料を共有していただきたい。
また、北海道さんの協力が必要になるが、駅の西側のかわまちづくりについて、旭ヶ丘公園との連動性を含めたうえで検討したい。

(峠ヶ委員)

- ・現状把握ということで、新幹線工事によって道路（町の動線）がどうなっていくのか、駅前通りの無電柱化等のスケジュール感がわかる資料がほしい。

(柏谷委員長)

- ・この後、ご講演をいただくので、その中でこういうことが知りたいというのが出てくると思う。最後に再度、必要な資料について確認させていただく。

7. 講演

演題「北陸新幹線敦賀駅開業とまちづくりについて」

敦賀市役所まちづくり観光部 部長 小川 明 氏

※別紙資料参照

8. その他

○次回以降の整備推進委員会に必要な資料の確認

- ・整備推進委員会の過去の検討内容が確認できる資料
- ・北海道と町のまちづくり計画と現状把握ができる資料

(跨線橋・迂回路、駅前通無電柱化計画、駅前通りロードヒーティング、体育館園路、土地区画整理、かわまち整備の概要と計画)

- ・駅前通り商店街の今までの取組（まちなか広場に関する資料）
- ・現状の倶知安駅の利用率と今後の推移予測
- ・「ちえなみき」（敦賀市の駅前公共施設）を現在、建てるとした場合の資材高騰踏まえた建築費

※必要な資料については事務局でまとめる。

○オブザーバーについて

今後は駅前通りの検討を行うため、委員会の参加についてはご判断をお任せする。

開催通知については引き続きご案内するが、案内が不要な場合は、事務局へご連絡してほしい。

以上